

えひめ水産イノベーション地域だより

発行：公益財団法人 えひめ産業振興財団
えひめ水産イノベーション創出地域
TEL 089-960-1153 FAX 089-960-1105
E-mail : sakamoto@ehime-iinet.or.jp
http://www.ehime-iinet.or.jp/inove/

第5号 平成25年5月1日発行

5月、青空いっぱい、鯉のぼり

鯉が滝を登り龍になったという中国故事に習い男児の出世・健康を願って鯉のぼりを揚げる風習が江戸時代の武家社会で生まれたそうです。

さて“五月は鯉の吹き流し”という言葉に耳にしたことがあると思いますが、口を大きく開け腹の中が空である様から「心がさっぱりしてわだかまりのないこと」とあり、江戸っ子の気質を表す時などに使われますが、もう一つ「口先だけで胆力(事に当たって尻込みをしない精神力)のないこと」という悪い意味もあるようです。

皆さん、使われる時には御用心下さい。

えひめ水産イノベーション戦略支援プログラムも事業2年目に入り、胆力を持って取り組みますので、ご支援・ご協力よろしくお願いします。

海外での商談会に参加

3月26日、えひめ愛フード推進機構主催の水産物を中心とした商談会がシンガポールの和食レストランで開かれ、当財団から2名が参加し、併せて水産市場調査を行いました。(後述)

商談会には、現地流通業者約30人、オーナーシェフ等飲食店関係者約50人が参加。県内出展企業12社(うち8社が南予の水産関連会社)が自社商品をアピール、中村知事自らもトップセールスを行った。商品を調理した様々な料理の「試食会」の後、出展企業各社が商品を手に個別面談方式による「商談会」が開催されました。

オープニングセレモニーの目玉であった宇和海産養殖マグロの解体ショーは、地元参加者にとっては珍しく、非常に好評であった。



商談会の様子

マグロ解体ショー



《商談会に参加された南予の水産関連会社》
イヨスイ(株)、(株)宇和島プロジェクト、(株)南予ビー
ジョイ、(株)島原蒲鉾[以上宇和島市] (株)オーシャン
ドリーム、八水蒲鉾(株)[以上八幡浜市] (株)マルウ水
産[西予市](株)シロモト食品[大洲市] (順不同)

商談会に出席された皆様、お疲れ様でした。

シンガポールの水産市場調査

《視察目的》①商談会に参加し県産水産物の海外販路開拓の実態調査②県産養殖水産物のシンガポール等アジア輸出に向けた課題の把握③日本食ブームに沸く、経済成長が著しい東アジアにおける新たなビジネスモデルの可能性の調査

《市場調査対象》高島屋シンガポール店内「築地・中島水産」、伊勢丹スコッチ店内イセタンスーパー「築地・平島水産」、明治屋(MEIDI-YA)店内「ななみ水産」「築地・中島水産」、市民市場「テッカセンター・ウェットマーケット」、地元スーパー「フェアプライス・ファイネスト」、国営ジュロン漁港魚市場、ジェットロ・シンガポール事務所、伊予銀行シンガポール駐在員事務所

《まとめ》市場調査を実施して、海外への水産輸出ビジネスモデルを考える場合、国内ビジネスと全く異なる次元で考える必要性を痛感。特に、これまでの水産ビジネスが、国内市場に依存し過ぎていた環境下で、流通面、商品設計、インフラ等の全ての面で国内基準の価値観で

対応しており、海外輸出、国際化にはまだまだ適応出来ない部分があることを感じた。



左：
市民市場の魚売場



地元資本のスーパーの鮮魚売場